

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区協力番組「西区まちセン最前セン」同局毎週木曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2008・11



まちの人



クラブ エスジェイエフ リーダー

たかせ ももこ
高瀬 桃子さん (15)

クラブ エスジェイエフ

札幌芸術の森が主宰する、小中学生を対象としたジャズスクール「札幌・ジュニア・ジャズスクール」の中学生クラスによるバンド。

バンド名のS J Fはジャズの祭典サッポロ・シティ・ジャズの前身であるサッポロ・ジャズ・フォレストに由来している。



■モントリオールでの公演終了後、仲間たちとの記念写真。後列右から6番目が高瀬さん。

今年七月、モントリオールジャズフェスティバルに出演を果たしたS J F。そのリーダーを務めているのが八軒東中学校三年生の高瀬さんです。「ハイレベルなジャズに触れて、とても勉強になりました」と振り返る高瀬さんはトロンボーンを担当しています。幼稚園のころからピアノを習い、音楽に親しんだ高瀬さんがトロンボーンを始めたのは小学校五年生のとき。友達に誘われたことがきっかけでした。「初めは音を出せなくて苦労しましたが、きれいな音を出せるようになって、すごく楽しくなってきました」とト

ジャズはずっと続けていきたい

ロンボーンに魅せられていた高瀬さん。中学校では吹奏楽部に入り、二年生になった去年、厳しいオーディションを戦い抜いてS J Fに入りました。現在は部活とS J Fを掛け持ちし、まさに音楽漬けの毎日を送っています。そんな高瀬さんの悩みはステージで緊張してしまうこと。「特にソロパートはステージの一番前で演奏するんですよ。手が震えるほど緊張します」と苦笑いします。「S J Fの練習は厳しいけれど楽しい」と話す高瀬さん。その理由はジャズが好きということはもちろんですが「先輩後輩の上下関係が無く、みんな友達です」と言える大切な仲間が存在があるから。S J Fは高瀬さんにとって単なるジャズバンドではなく「仲間と喜怒哀楽を共にできる大切な場」なのです。来春には高校受験を控え、学習塾にも通う多忙な高瀬さん。「一応勉強も頑張っています」と照れ笑います。将来は「プロのジャズミュージシャンになる自信はないけれど、趣味でもいいからジャズは一生続けていきたい」とさわやかに語ってくれました。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがきファックスEメール nishi@city.sapporo.jp で西区総務企画課広聴係上欄へ。